

Η ΑΛΗΘΕΙΑ ΕΛΕΥΘΕΡΩΣΕΙ ΥΜΑΣ

あなたはこの事実を知っていましたか？

—ドキュメンタリー映画—

# 疎開した 40万冊の図書

戦争中“本”を守った人々がいた

証言者:阿刀田高、早乙女勝元ほか ナレーション:長塚京三 声:金井 節、京井 幸、黒岩拓朗、名取誠之、寺澤美央 監督・編集:金高謙二

プロデューサー:海舟制作、小田部義 撮影:飯谷金高謙二、花井ひろみ 音楽:ブッチャーニ 歌唱:「ジャンニ スキッキ」より 葛のお父さん集 製作協力:ディレクターズシステム 製作:シネマボックス 宣伝プロデューサー:新田道雄 パブリシティ:キャンボール

原作:「疎開した四〇万冊の図書」丸藤博司刊 金高謙二著 監訳:千代田区立日比谷図書館文化館 2013年/カラー作品/102分 文化を守る映画製作委員会 CINEMABOX presents

©2013 cinemabox.bunkaishinkai.allrightsreserved.

文部科学省選定



## 「疎開した40万冊の図書」上映会・トークショー

会場 山梨県立図書館 多目的ホール

日時 **5月10日(土) 午後2時~午後4時30分**(1時30分開場)

定員 **150名** (先着順・事前申込制 鑑賞無料)

※映画上映(102分)後、金高監督と阿刀田館長とのトークショーがあります。

お申込・お問い合わせ

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8番1号

TEL: 055-255-1040(代表) FAX: 055-255-1042

E-mail: shinko@lib.pref.yamanashi.jp URL: <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>



《かいぶらり》  
山梨県立  
図書館  
YAMANASHI  
PREFECTURAL  
LIBRARY



「疎開した40万冊の図書」上映会・参加申込用紙 (FAX:055-255-1042)

ふりがな 氏名	
住所	〒
電話番号	

ご案内

- ・電話、FAX、はがき、電子メールまたは県立図書館カウンター申込いずれかの方法でお申込みください。なお、当日の申込受付はできません。
- ・図書館の駐車スペースには限りがあります。(153台)
- ・図書館利用者は、1時間以内は無料、以降30分につき一般車は150円の駐車料金が必要になります。
- ・できるだけ環境にやさしい公共交通機関でご来館ください。



Η ΑΛΗΘΕΙΑ ΕΛΕΥΘΕΡΩΣΕΙ ΥΜΑΣ

**【製作にあたって】**  
1944年から45年にかけて日比谷図書館の蔵書40万冊が戦禍を逃れるため疎開をした。  
史上空前の大移動。一年に及ぶ移動は過酷を極め、図書館員を始め都立一中の中学生たちがリュックや大八車を押して、50キロ離れた奥多摩や埼玉県志木市に何回となく足を運んだ。その後昭和20年5月25日、連合国の放った焼夷弾によって日比谷図書館は全焼する。もし、仮に日比谷図書館の40万冊の蔵書が疎開していなければ、日本文化の多くは失われていたはずである。  
戦争は人々に無慈悲なダメージを与えるだけでなく、民族の尊厳や文化を根こそぎスタスタに破壊する。本を否定するとは、人間を殺傷することとそれほど違いがあるのだろうか？  
自分の命を守り生きるのが精一杯だった戦時下で、多くの人たちがつらい過酷な体験をしながら文化を守った。  
歴史上例を見ない40万冊の疎開。それらを救った人たちは、この史実を一人でも多くの人たちに伝えることは、激しい戦争を繰り返してはならない。恒久平和の願いに込めることである。多くの人たちにこの事実を知ってもらい、次世代に繋がる文化の継承と平和の尊さが伝わることを願わずにはいられない。  
監督：金高謙一

**【あらすじ】**  
日比谷図書館は、1908年明治41年「東京市立日比谷図書館」として開設。東京の中心館としての機能を果たしてきた。1943年、戦況の悪化に伴い、各図書館での疎開が検討され始めた。日比谷でも疎開の問題は取り上げられ、一部が奥多摩の多西村(現あきる野市)に疎開を始めた。1944年、新しく館長に就任した中田邦造を中心に残る蔵書およそ26万冊の疎開が検討された。しかし、それを運ぶ人手も戦地に取られ、当時の都立一中生(現日比谷高校生徒)たち26名が動員された。さらに中田は、この際、民間人が募集している貴重な本も買い上げ、疎開させるべきだと提案。加賀野三郎、諸橋敏次、井上百次郎などから貴重本を買い上げ疎開させた。やがて連合の1944年(昭和20年)5月25日、日比谷図書館は迎撃された。だが、中田が買い上げた民間貴重書と蔵書の一部を併せたおよそ40万冊の本は、奥多摩と埼玉県志木市の蔵の中で助かったのである。  
また、この映画の中では、現代の図書館にまつわる逸話も登場する。  
イラクの図書館で戦争から3万冊の本を守った人、図書館がないという福島県飯館村がインターネットで呼びかけたら5万6千冊の絵本が全国から集まったこと、東日本大震災後、壊れた図書館に代わって移動図書館で市民の心を支える陸前高田市立図書館などを紹介する。



疎開した40万冊の図書